

(記入例)

別表3

(A4)

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		鉄筋コンクリート造 その他()			
工事の種類		レ新築工事 維持・修繕工事 解体工事 電気 水道 ガス 下水道 鉄道 電話 レその他(鉄筋コンクリート擁壁設置)			
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		レコンクリート レコンクリート及び鉄から成る建設資材 レアスファルト・コンクリート レ木材			
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数____年 (新築工事の場合は空欄、維持・修繕工事、解体工事に関係しそうな事項を具体的に記入) その他()			
	周辺状況	周辺にある施設 レ住宅 商業施設 レ学校 病院 その他() 敷地境界との最短距離 約 3 m その他(幹線道路(国道)沿い、交通量多い)			
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容		工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容		
	作業場所	作業場所 十分 レ不十分 その他(前面道路の使用必要)	道路占用許可済、道路使用許可済 (作業場所の確保が困難な場合、具体的な対策を記入)		
	搬出経路	障害物 有() レ無 前面道路の幅員 約 10 m 通学路 レ有 無 その他()	支障なし 前面道路に交通誘導員配置(作業中) (支障が生じる場合は、具体的な対策を記入)		
	特定建設資材への付着物 (解体・維持・修繕工事のみ)	有 (石綿その他特別の処理を要する付着物の種類を記入) () 無	(新築工事の場合は空欄)		
	その他	(有害物質等がある場合は、種類を具体的に記入)	沿道住民に工事の内容を広報、周知する (有害物質等がある場合は、それらの対処について具体的に記入)		
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容		分別解体等の方法 (解体工事のみ)	
	仮設	仮設工事 レ有 無		手作業 手作業・機械作業の併用	
	土工	土工事 レ有 無		手作業 手作業・機械作業の併用	
	基礎	基礎工事 レ有 無		手作業 手作業・機械作業の併用	
	本体構造	本体構造の工事 レ有 無		手作業 手作業・機械作業の併用	
	本体付属品	本体付属品の工事 レ有 無		手作業 手作業・機械作業の併用	
	その他 (アスファルト舗装)	その他の工事 レ有 無		手作業 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		上の工程における の順序 その他() その他の場合の理由()			
工作物に用いられた建設資材の量 の見込み(解体工事のみ)		トン			
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)		種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)
			レコンクリート塊	10 トン	レ レ レ
			レアスファルト・コンクリート塊	20 トン	レ
			レ建設発生木材	3 トン	レ レ レ
(注) 仮設 土工 基礎 本体構造 本体付属品 その他					
備考					

欄には、該当箇所「レ」を付すこと。